

★★公民館教室が本格的にスタートしました！！
～ 郷土料理教室A ～ 5月11日（木）開講

「和食；日本人の伝統的な食文化」は、平成25年（2013年）にユネスコの無形文化財に登録され、今年で10年を迎えます。公民館でも、地域固有の食文化である「郷土料理」をいろいろな方が知るきっかけになればということで、平成27年の1回限りの講座から始まり、今年度は2クラスに分けて5回ずつを予定しています。なるべく地域に根付いており、その季節に採れる多彩で新鮮な食材を使う献立となるので、季節ごとのいろいろな食材を知るきっかけにもなります。



講師の管理栄養士の三浦康代先生。受講生からの質問にもいつも丁寧に答えてくれます。



アジの捌くのに奮闘中！！

郷土料理 食材の豆知識

～萩のもずく～【水雲、海雲、藻付】

本来の旬は春。天然のもずくは、繊細で細く柔らかく、すがすがしい磯の香りと、シャキシャキの食感でぬめりも多い。

あじ・サバ・金太郎をほぐした身をいれる独特の食べ方は萩ならではの。

ビタミンやカルシウムなどのミネラル、食物繊維を多く含み、低カロリーなので、近年健康志向の方に人気の食品。～萩の木になるモノづくり協議会「郷土料理」より～



○献立（郷土料理）

- * 山菜の炊込みご飯
(わらび・淡竹)
- * だき寿司(あじ・卵の花)
- * もずく酢
- * わさびの白和え
- * 甘夏寒天

※他にも、甘夏や淡竹・わらびなど季節の果物や野菜を使って調理しました。

～楽しく作るパン教室A～ 5月17日（水）開講 講師：松田智子先生

本年度も36名の方からお申込いただき、人気の講座です。公民館の教室では、パン作りの肝である生地の状態がよくわかるよう、「手ごね」でパンの生地を作ります。

ただ何より、手ごねは、皆ですと「楽しい！」です。教室が始まる前にお聞きしたところ、パンを作るのが初めて、という方かなりいらっしゃいましたが、皆で和気あいあいと捏ねているといつの間にかチームワークが生まれていました。



※先生の手にかかると、あっという間に生地がグルテンの膜ができてキレイに



パン・ド・クレモンティーヌ

クレモンティーヌ：フランスの小さくて香りが良いオレンジ



パブロバ

～おまけのお菓子～

★サクッふわっ食感が魅力。メレンゲを使用した小麦粉もバターも使わない低カロリーのスイーツ。発祥は、オーストラリアまたはニュージーランド。

*パン教室の醍醐味は、焼き上がりの試食!!なのですが、いただくのに夢中になり、焼き上がりの写真を撮るのを忘れてしまいました。

～歴史講座～ 5月19日（金）開講



萩博物館特別学芸員
一坂 太郎 先生

「和宮降嫁と公武合体」

48名の方にご参加いただきました。

歴史講座は、毎回いろいろな方に講師に来ていただいています。第1回目は、萩博物館の一坂先生。一坂先生には、11月の周防大島への現地研修（四境戦争）もお願いしています！！コロナ禍で延期ばかりになっていましたが、お楽しみに！！

【中央公民館 6月の教室・講座予定】

●中央公民館講座

- (1) ヨーガ教室（前期） = 6日（火）10:30～・20日（火）10:30～
- (2) 国際交流員 Hannahさんの国際料理教室 = 7日（水）13:30～
- (3) 郷土料理教室 = 8日（木）9:30～
- (4) 楽しく作るパン教室（昼） = 14日（水）13:30～
- (5) 歴史講座「吉田松陰の盟友 中谷正亮」 = 16日（金）10:00～
講師 毛利博物館 顧問 小山 良昌 様
- (6) 珈琲講座 = 19日（月）14:00～
- (7) 葉膳マクロビ料理教室 = 23日（金）9:30～
- (8) 季節の野菜とナチュラル素材で作る料理教室 = 29日（木）9:30～

●あおあお（高齢者）教室（見学可）

- (1) 歌謡倶楽部講座 = 3日（土）13:30～・17日（土）13:30～
- (2) 書道講座 = 5日（月）9:30～
- (3) 園芸講座 = 6日（火）9:30～
- (4) 初心者からの「いけ花倶楽部」講座（前期） = 18日（日）10:00～
- (5) 絵てがみ講座 = 20日（火）13:30～
- (6) 老化防止教室 = 26日（月）10:15～

教室・講座 いよいよ・フル稼働！

教室・講座予定のとおり令和5年度中央公民館教室・講座が、6月からフル稼働します。

応募多数で、当初予定より開催日・回数などを増やし、開く教室・講座もあります。

なお、あおあお（高齢者）教室では、**60歳以下の方も受講可。**

途中申込み可です。中央公民館までご相談ください。

・・・いけ花・絵てがみ・園芸講座など！

【コラム 三角州】

～波瀾万丈なゴールデンウィーク～

皆さんゴールデンウィークは楽しめたでしょうか。

前半は天気良かったですが、後半は雨が続き、なかなか思うように行動できなかった人も多いのではないのでしょうか。

私のゴールデンウィークは、妻の実家に帰ったり、少し遠出をしたりと充実した休日を過ごすことができましたが、なんだかんだと疲れたような印象があります。

最終日には車の買い替えのため、7年間乗っていた車を買取りしていただき波瀾万丈で刺激的な日々を過ごしました。

改めて値段交渉など駆け引きは苦手だな～と思いましたが、妻は楽しかったと呟いており、やはり私とは鍛え方が違うと心の中で感じておりました。

何が楽しいのか、さっぱり理解不能でございました。

末廣 大地

4月末から、各中学校地区の地域協育ネット会議に参加しております。「地域協育ネット」とは、「幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援することを意図したネットワーク（仕組み）です。「地域協育ネット」の「協育」という言葉には、学校・家庭・地域が「協」働して、子どもたちの生きる力を「育」むという意味が込められています。そのため、地域協育ネットには、地域住民、PTA、公民館、スポーツ・文化団体、社会教育関係団体、自治会コミュニティ、家庭教育支援チームなどさまざまな立場の方が参加されています。

私が参加した地域協育ネット会議では、学校から今年度のふるさと学習の方向性について説明があったり、「あいさつ」や「ボランティア活動」について小グループで話し合ったりと形や内容はさまざまでした。しかし、共通していることは、参加者が「地域の子どもたちのため」と共通の思いをもっていることです。

さて、上杉鷹山をご存知の方も多いのではないのでしょうか。（萩の偉人を取り上げていないことについては、ご容赦願います。）1767年、現在の山形県東南部あたりを治めていた米沢藩藩主となった17歳の上杉鷹山ですが、家督を継いだころの米沢藩は戦国大名上杉謙信の流れを汲む大藩の面影はなく、幕府に大名家を返上する寸前でした。江戸から米沢に来て落胆していた上杉鷹山は、煙草盆の灰皿の中で灰に埋もれている火を見つけ、炭を近づけて新たな火を起こします。その体験から、「火種が1つであっても一人ひとりが火種となり、多くの炭に移すことができる。」と周囲に説き、自らの考えを広げて、改革を成し遂げ藩を立ち直らせます。

地域協育ネットでは、上記でふれているようにそれぞれの立場の代表が集まっています。会議の中で出てきた取組や話題に上ったことについて、参加者が自分事として持ち帰り、周囲に思いや取組を共有してほしいと思います。「地域の子どもたちのため」という思いを横のつながりで広げていき、多くの地域の方に協育へ参加していただきたいと願っています。

【市役所ロビーコンサート（入場無料）】

明るい市役所の雰囲気づくりと生の演奏に気軽に触れていただく機会を創出するため、毎月1回、市役所のお昼休みの時間を利用して、ロビーコンサートを開催しています。

○第19回：6月7日(水)12:15～12:45

演奏者 秋山美恵（ソプラノ）、小野敦子（伴奏）

演奏曲名 歌劇「トロヴァトーレ」より

恋は薔薇色の翼に乗ってなど

演奏者募集中

○第20回：7月5日(水)12:15～12:45

演奏者 槌屋幸子(Yukino)（ピアノ弾き語り）

演奏曲名 『If we hold on together』、『乾杯』ほか

